

## (2) 今期の景況と来期の見通し

### 製 造 業

#### 業況・売上額・受注残・収益

製造業の主要指標をみると、業況は△9.6で前期比3.9ポイント増とやや厳しさが和らいだ。売上額は6.2で5.9ポイント増と大きく増加幅が拡大し、受注残は5.2で6.6ポイント増、収益は7.4で13.7ポイント増とともに増加に転じた。来期の見通しについては、業況は厳しさが幾分和らぎ、売上額は増加幅がかなり拡大し、受注残はわずかに好調さを強め、収益は多少後退する見込み。

業種別でみると、業況は「電気機械器具」は悪化に転じ、「金属製品・建設用金属製品」「一般機械器具・金型」はともに極端に厳しさが和らいだ。売上額は、「一般機械器具・金型」は増加に転じ、「電気機械器具」は大幅に改善し、「金属製品・建設用金属製品」は若干持ち直した。受注残は、「一般機械器具・金型」は増加に転じ、「金属製品・建設用金属製品」「電気機械器具」はともに大幅に改善した。収益は、「金属製品・建設用金属製品」「電気機械器具」はともに増加に転じ、「一般機械器具・金型」は極端に減益幅が縮小した。

#### 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は21.2で5.5ポイント減と大きく上昇幅が縮小し、原材料価格は54.1で4.5ポイント減とやや上昇傾向が弱まり、在庫は0.9で4.9ポイント増と適正水準となった。来期の見通しについては、販売価格はわずかに上昇幅が拡大し、原材料価格は上昇傾向が大幅に弱まり、在庫は適正水準が続く見通し。

業種別でみると、販売価格は、「一般機械器具・金型」はかなり上昇傾向が強まり、「金属製品・建設用金属製品」は幾分上昇傾向が弱まり、「電気機械器具」は大きく上昇幅が縮小した。原材料価格は、「金属製品・建設用金属製品」は極端に上昇傾向が強まり、「電気機械器具」は大幅に上昇幅が拡大し、「一般機械器具・金型」は大きく上昇が弱まった。在庫は、「金属製品・建設用金属製品」「一般機械器具・金型」はともに適正水準から過剰となり、「電気機械器具」は過剰に転じた。

#### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは△13.7で3.1ポイント増と多少改善した。借入難易度は2.2で2.2ポイント増とやや容易さが増した。借入をした企業は15.3%で4.0ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は10.2%で2.3ポイント減少した。来期の見通しについて、資金繰りは今期並の苦しさで推移し、借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業はわずかに減少する見込み。

業種別でみると、資金繰りは、「電気機械器具」は極端に窮屈感が緩和し、「一般機械器具・金型」は前期並の苦しさとなり、「金属製品・建設用金属製品」は若干窮屈感が強まった。借入難易度は、「一般機械器具・金型」は大幅に容易さが増し、「金属製品・建設用金属製品」は好転し、「電気機械器具」は厳しい状況に転じた。今期借入をした企業は、「金属製品・建設用金属製品」は極端に増加し、「電気機械器具」は幾分減少し、「一般機械器具・金型」は極端に減少した。設備投資を実施した企業は、「金属製品・建設用金属製品」「電気機械器具」はともに大幅に増加し、「一般機械器具・金型」は極端に減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位は「原材料高」で55.9%となった。次いで2位は「売上の停滞・減少」で39.0%、3位は「利幅の縮小」で23.7%となった。以下、4位は「人手不足」で16.9%、5位は「人件費の増加」で15.3%となった。

重点経営施策では、1位は「販路を広げる」で64.4%となった。次いで2位は「経費を節減する」で57.6%、3位は「人材を確保する」で15.3%となった。以下、4位は「新製品・技術を開発する」で11.9%、5位は「提携先を見つける」で10.2%となった。

## 業種別動向

### (1) 金属製品、建設用金属製品

業況は△3.2で前期比24.2ポイント増と極端に厳しさが和らいだ。収益は15.1で28.4ポイント増と増加に転じ、受注残は△2.5で6.3ポイント増と大幅に改善し、売上額は△0.4で3.6ポイント増と若干持ち直した。今期の「金属製品、建設用金属製品」は、業況、売上額、受注残、収益はいずれも改善した。価格動向については、販売価格は27.0で4.0ポイント減と幾分上昇傾向が弱まり、原材料価格は63.3で22.2ポイント増と極端に上昇傾向が強まった。在庫は4.3で3.2ポイント増と適正水準から過剰となつた。資金繰りは△26.5で1.8ポイント減と若干窮屈感が強まり、借入難易度は25.0で45.0ポイント増と好転した。借入をした企業は20.0%で20.0ポイント増加し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は10.0%で10.0ポイント増加した。

来期の見通しについては、業況は厳しさがやや和らぐ見込み。収益は増加幅が大きく縮小し、売上額、受注残はともに増加に転じる見通し。価格動向については、販売価格は上昇傾向が大幅に強まり、原材料価格は上昇傾向がわずかに弱まるとみられる。在庫は過剰感がかなり強まり、資金繰りは窮屈感が大きく緩和し、設備投資を実施する企業は大幅に増加する見込み。

経営上の問題点については、1位は「原材料高」で60.0%、2位は「売上の停滞・減少」で40.0%、3位は「利幅の縮小」で30.0%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」で60.0%、2位は「経費を節減する」で30.0%、3位は「新製品・技術を開発する」「人材を確保する」でともに20.0%となった。

### (2) 一般機械器具、金型

業況は△10.7で前期比24.5ポイント増と極端に厳しさが和らいだ。売上額は10.5で41.6ポイント増、受注残は8.8で34.3ポイント増とともに増加に転じ、収益は△11.9で29.3ポイント増と極端に減益幅が縮小した。今期の「一般機械器具、金型」は、業況、売上額、受注残、収益はいずれも改善した。価格動向については、販売価格は19.2で6.4ポイント増とかなり上昇傾向が強まり、原材料価格は55.1で13.4ポイント減と大きく上昇が弱まった。在庫は9.9で8.0ポイント増と適正水準から過剰となつた。資金繰りは△14.2で1.4ポイント増と前期並の苦しさとなり、借入難易度は33.3で13.3ポイント増と大幅に容易さが増した。借入をした企業は0.0%で20.0ポイント減少し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は0.0%で20.0ポイント減少した。

来期の見通しについては、業況は厳しさがやや和らぐ見込み。売上額、受注残はともに増加から減少に転じ、収益は減益幅が大きく拡大する見通し。販売価格は上昇傾向がかなり弱まり、原材料価格は今期並の上昇が続くとみられる。在庫は過剰感がわずかに強まり、資金繰りは今期同様の厳しさで推移し、設備投資を実施する企業は今期並となる見込み。

経営上の問題点については、1位は「原材料高」で71.4%、2位は「売上の停滞・減少」で57.1%、3

位は「仕入先からの値上げ要請」で28.6%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で57.1%、2位は「販路を広げる」で42.9%、3位は「機械化を推進する」で28.6%となった。

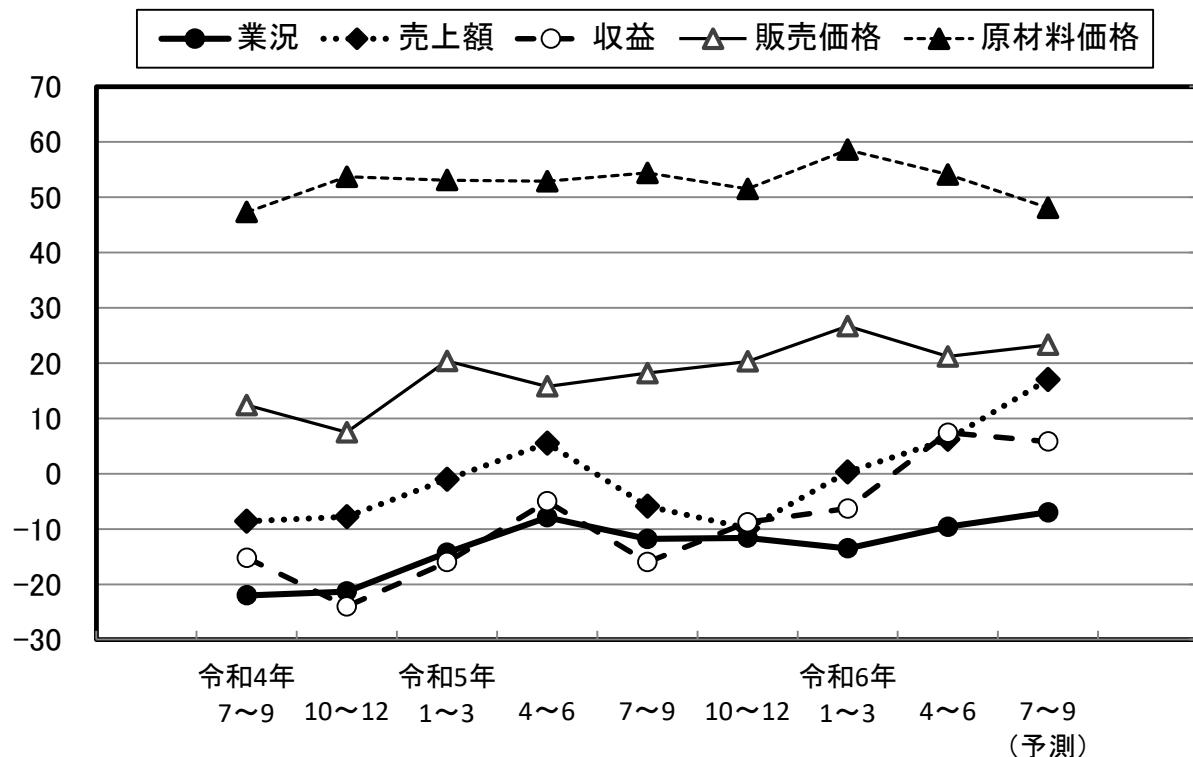
### (3)電気機械器具

業況は△8.4で前期比10.6ポイント減と悪化に転じた。収益は11.2で14.1ポイント増と増加に転じ、売上額は△0.4で11.6ポイント増、受注残は△2.6で17.1ポイント増とともに大幅に改善した。今期の「電気機械器具」は、売上額、受注残、収益はいずれも改善し、業況は悪化した。価格動向については、販売価格は25.4で6.3ポイント減と大きく上昇幅が縮小し、原材料価格は53.1で7.8ポイント増と大幅に上昇幅が拡大した。在庫は5.4で27.7ポイント増と過剰に転じた。資金繰りは△12.9で22.2ポイント増と極端に窮屈感が緩和し、借入難易度は△25.0で39.3ポイント減と厳しい状況に転じた。借入をした企業は20.0%で5.0ポイント減少し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は20.0%で7.5ポイント増加した。

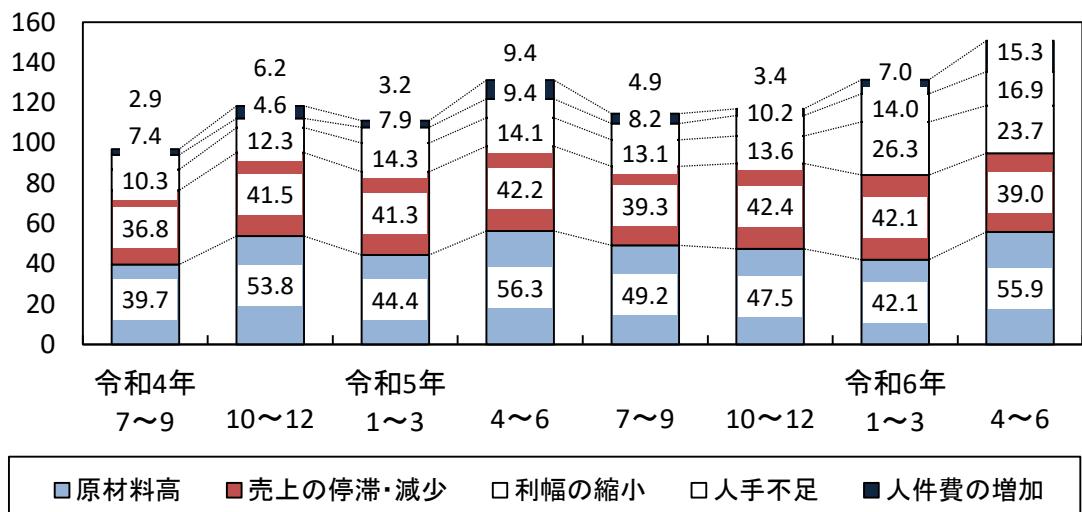
来期の見通しについては、業況は好転する見込み。収益は増加幅がかなり拡大し、売上額、受注残はともに増加に転じる見通し。販売価格は今期並の上昇が続き、原材料価格は上昇傾向が極端に弱まると思われる。在庫は今期同様の過剰感が続き、資金繰りは窮屈感がやや強まり、設備投資を実施する企業は極端に減少する見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」「原材料高」でともに50.0%、2位は「利幅の縮小」で40.0%、3位は「大手企業との競争の激化」「輸入製品との競争の激化」「人件費の増加」でいずれも20.0%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」で70.0%、2位は「経費を節減する」で60.0%、3位は「新製品・技術を開発する」「提携先を見つける」でともに20.0%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

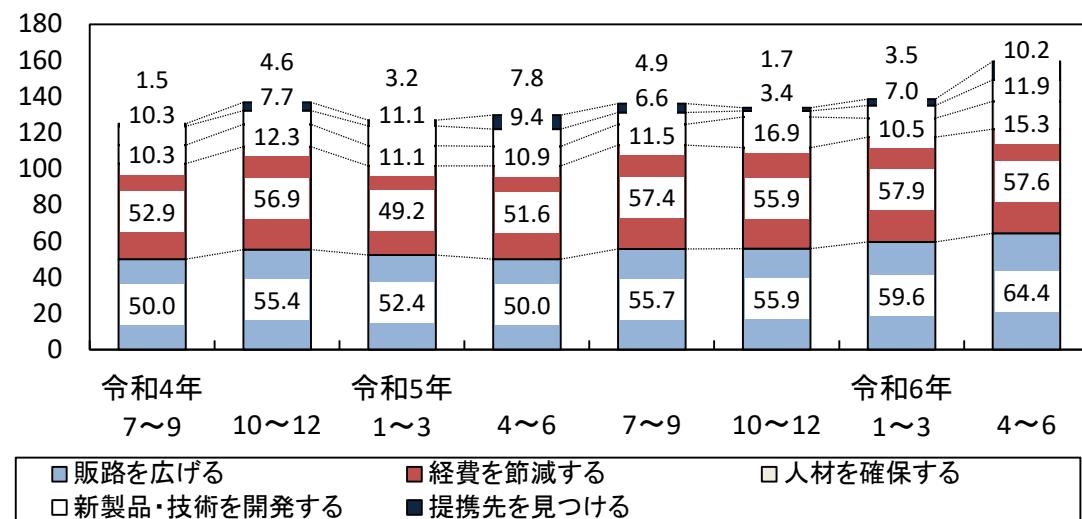


## 製造業 経営上の問題点（%）



	令和5年7月～9月期	令和5年10月～12月期	令和6年1月～3月期	令和6年4月～6月期
第1位	原材料高 49.2 %	原材料高 47.5 %	原材料高 42.1 % 売上の停滞・減少 42.1 %	原材料高 55.9 %
第2位	売上の停滞・減少 39.3 %	売上の停滞・減少 42.4 %	利幅の縮小 26.3 %	売上の停滞・減少 39.0 %
第3位	同業者間の競争の激化 16.4 %	仕入先からの値上げ要請 20.3 %	仕入先からの値上げ要請 15.8 %	利幅の縮小 23.7 %
第4位	仕入先からの値上げ要請 14.8 %	利幅の縮小 13.6 %	同業者間の競争の激化 14.0 % 人手不足 14.0 %	人手不足 16.9 %
第5位	利幅の縮小 13.1 %	工場・機械の狭小・老朽化 10.2 % 人手不足 10.2 %	人件費の増加 7.0 %	人件費の増加 15.3 %
	同業者間の競争の激化 10.2 %			

## 製造業 重点経営施策（%）



	令和5年7月～9月期	令和5年10月～12月期	令和6年1月～3月期	令和6年4月～6月期
第1位	経費を節減する 57.4 %	経費を節減する 55.9 %	販路を広げる 59.6 %	販路を広げる 64.4 %
	販路を広げる 55.9 %			
第2位	販路を広げる 55.7 %	人材を確保する 16.9 %	経費を節減する 57.9 %	経費を節減する 57.6 %
第3位	人材を確保する 11.5 %	情報力を強化する 10.2 %	人材を確保する 10.5 %	人材を確保する 15.3 %
第4位	情報力を強化する 8.2 %	機械化を推進する 6.8 %	新製品・技術を開発する 7.0 %	新製品・技術を開発する 11.9 %
第5位	新製品・技術を開発する 6.6 %	労働条件を改善する 5.1 %	工場・機械を増設・移転する 5.3 %	提携先を見つける 10.2 %
	工場・機械を増設・移転する 5.1 %	機械化を推進する 5.3 %		

## 卸 売 業

### ／業況・売上額・収益

卸売業の主要指標をみると、業況は△12.1で前期比0.5ポイント減と前期同様の厳しさが続いた。売上額は△5.0で1.8ポイント増とわずかに持ち直し、収益は△22.6で6.3ポイント減と大きく減益幅が拡大した。来期の見通しについては、業況は低調感が大幅に強まり、売上額、収益はともに増加に転じる見込み。

### ／価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は20.7で0.2ポイント増と前期並の上昇が続き、仕入価格は49.3で2.5ポイント増とやや上昇幅が拡大した。在庫は10.5で4.1ポイント増と多少過剰感が強まった。来期の見通しについては、販売価格は幾分上昇幅が縮小し、仕入価格は上昇傾向がかなり弱まり、在庫は過剰感が大幅に強まる見込み。

### ／資金繰り・借入金・設備投資動向

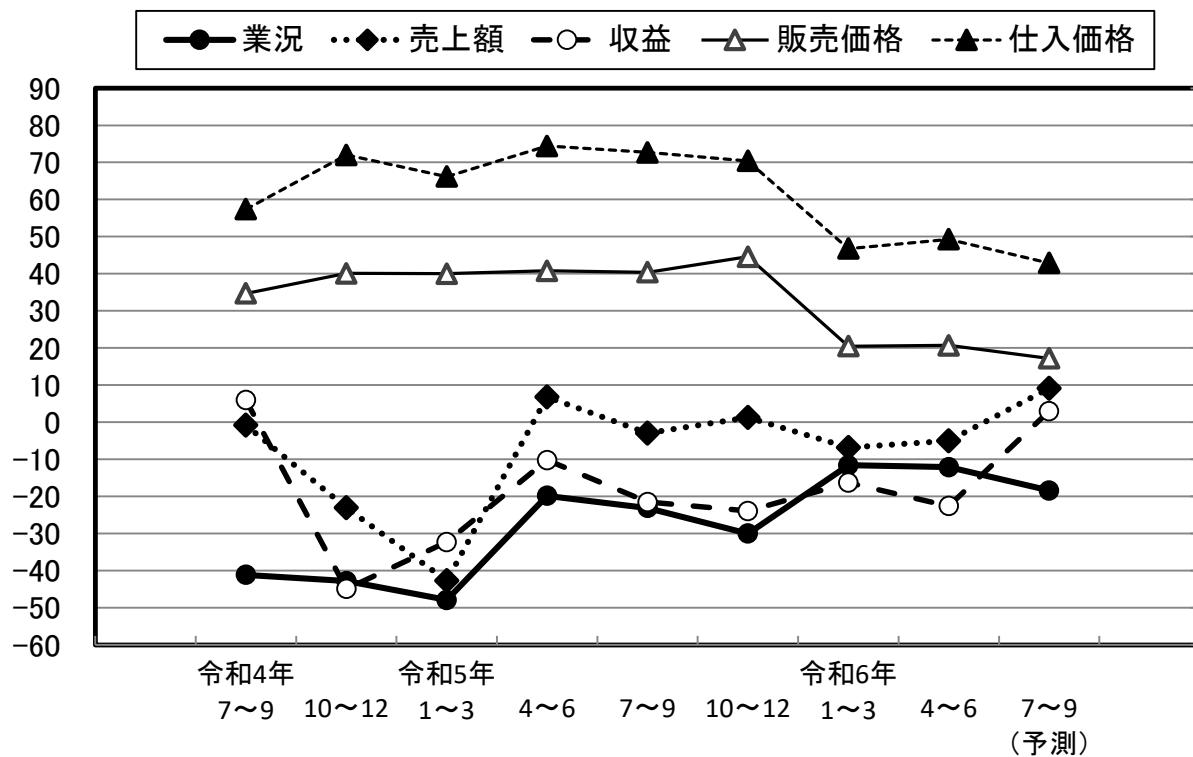
資金繰りは1.6で11.0ポイント増と容易となり、借入難易度は0.0で23.5ポイント増と極端に厳しさが和らいだ。借入をした企業は15.8%で1.5ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は21.1%で11.6ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様変わらず推移し、借入をする企業は今期並となり、設備投資を実施する企業は大きく減少する見込み。

### ／経営上の問題点・重点経営施策

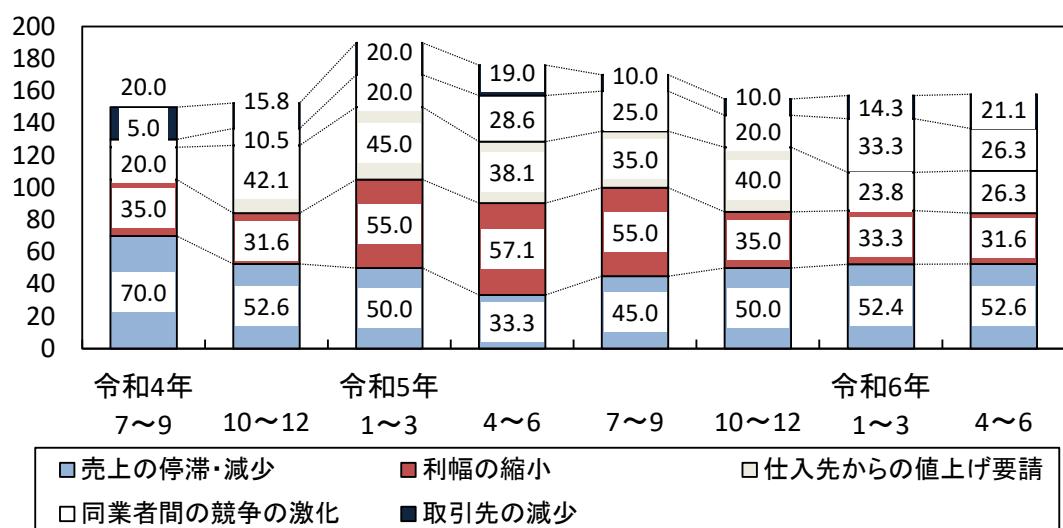
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で52.6%となった。次いで2位は「利幅の縮小」で31.6%、3位は「仕入先からの値上げ要請」「同業者間の競争の激化」でともに26.3%となった。以下、4位は「取引先の減少」で21.1%、5位は「人手不足」「取扱商品の陳腐化」でともに15.8%となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」で63.2%となった。次いで2位は「経費を節減する」で52.6%、3位は「流通経路の見直しをする」で21.1%となった。以下、4位は「新しい事業を始める」で15.8%、5位は「提携先を見つける」「品揃えを充実する」でともに10.5%となった。

## 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

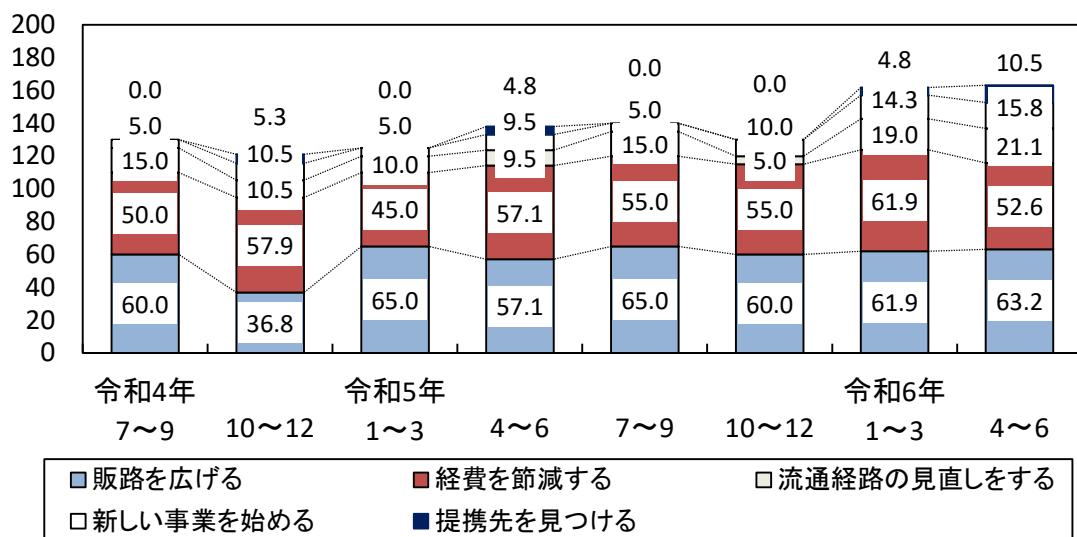


## 卸売業 経営上の問題点（%）



	令和5年7月～9月期	令和5年10月～12月期	令和6年1月～3月期	令和6年4月～6月期
第1位	利幅の縮小 55.0 %	売上の停滞・減少 50.0 %	売上の停滞・減少 52.4 %	売上の停滞・減少 52.6 %
第2位	売上の停滞・減少 45.0 %	仕入先からの値上げ要請 40.0 %	利幅の縮小 33.3 %	利幅の縮小 31.6 %
		同業者間の競争の激化 33.3 %		
第3位	仕入先からの値上げ要請 35.0 %	利幅の縮小 35.0 %	仕入先からの値上げ要請 23.8 %	仕入先からの値上げ要請 26.3 %
				同業者間の競争の激化 26.3 %
第4位	同業者間の競争の激化 25.0 %	同業者間の競争の激化 20.0 %	人手不足 19.0 %	取引先の減少 21.1 %
第5位	販売納入先からの値下げ要請 15.0 %	取引先の減少 10.0 %	取引先の減少 14.3 %	人手不足 15.8 %
	人手不足 15.0 %	人手不足 10.0 %	為替レートの変動 14.3 %	取扱商品の陳腐化 15.8 %
		取扱商品の陳腐化 10.0 %		

## 卸売業 重点経営施策（%）



	令和5年7月～9月期	令和5年10月～12月期	令和6年1月～3月期	令和6年4月～6月期
第1位	販路を広げる 65.0 %	販路を広げる 60.0 %	経費を節減する 61.9 % 販路を広げる 61.9 %	販路を広げる 63.2 %
第2位	経費を節減する 55.0 %	経費を節減する 55.0 %	流通経路の見直しをする 19.0 %	経費を節減する 52.6 %
第3位	品揃えを充実する 20.0 %	品揃えを充実する 35.0 %	新しい事業を始める 14.3 % 品揃えを充実する 14.3 %	流通経路の見直しをする 21.1 %
第4位	流通経路の見直しをする 15.0 % 情報力を強化する 15.0 %	人材を確保する 15.0 %	情報力を強化する 9.5 %	新しい事業を始める 15.8 %
第5位	人材を確保する 10.0 %	新しい事業を始める 10.0 % 情報力を強化する 10.0 %	提携先を見つける 4.8 % 人材を確保する 4.8 % パート化を図る 4.8 % 不動産の有効活用を図る 4.8 %	提携先を見つける 10.5 % 品揃えを充実する 10.5 %

## 小 売 業

### 業況・売上額・収益

小売業の主要指標をみると、業況は△13.1で前期比7.2ポイント減とかなり低調感が強まった。売上額は4.6で1.5ポイント減とやや増加幅が縮小し、収益は△8.5で1.3ポイント減と前期並の減益が続いた。来期の見通しについては、業況は厳しさがわずかに和らぎ、売上額は増加から減少に転じ、収益は今期並の減益が続く見込み。

### 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は38.3で1.0ポイント増と前期並の上昇が続き、仕入価格は58.7で5.5ポイント増と大きく上昇傾向が強まった。在庫は△6.6で1.5ポイント減とやや不足感が強まった。来期の見通しについては、販売価格、仕入価格はともに今期並の上昇が続き、在庫は今期同様の不足感で推移する見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

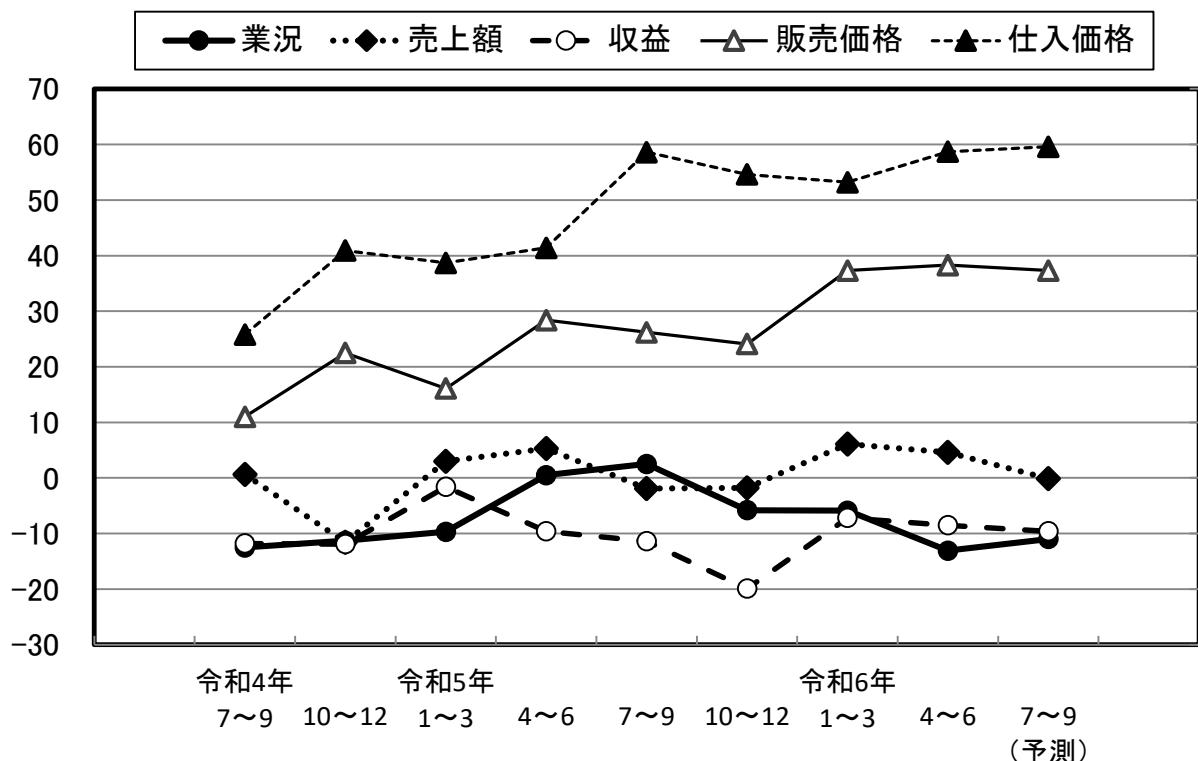
資金繰りは△4.9で2.4ポイント増と若干窮屈感が緩和した。借入難易度は9.5で9.5ポイント増と大幅に容易さが増し、借入をした企業は28.1%で12.9ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は16.7%で13.6ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様変わらず推移し、借入をする企業、設備投資を実施する企業はともにかなり減少する見込み。

### 経営上の問題点・重点経営施策

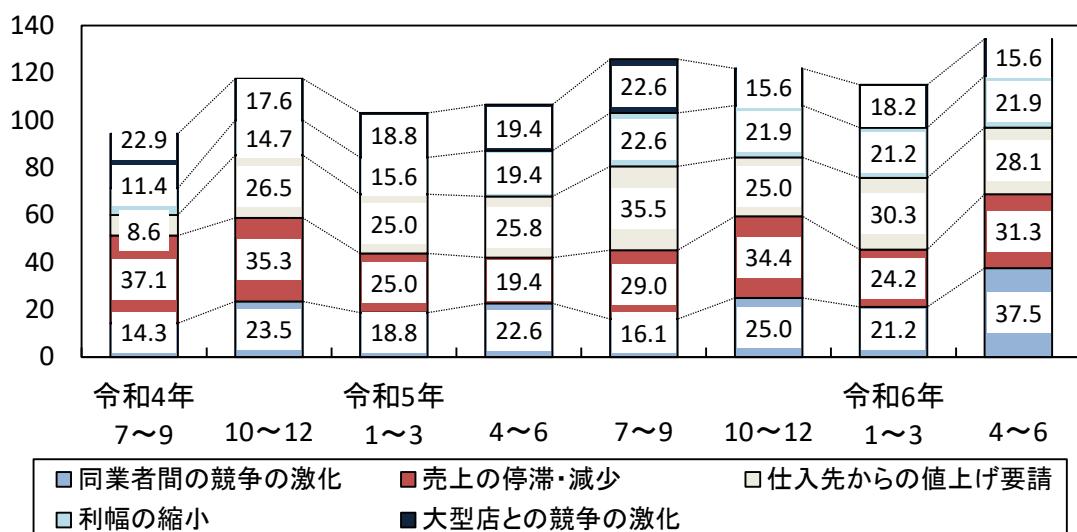
経営上の問題点については、1位は「同業者間の競争の激化」で37.5%となった。次いで2位は「売上の停滞・減少」で31.3%、3位は「仕入先からの値上げ要請」で28.1%となった。以下、4位は「利幅の縮小」で21.9%、5位は「大型店との競争の激化」で15.6%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で50.0%となった。次いで2位は「品揃えを改善する」で37.5%、3位は「売れ筋商品を取り扱う」で25.0%となった。以下、4位は「宣伝・広告を強化する」で21.9%、5位は「仕入先を開拓・選別する」で15.6%となった。

## 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

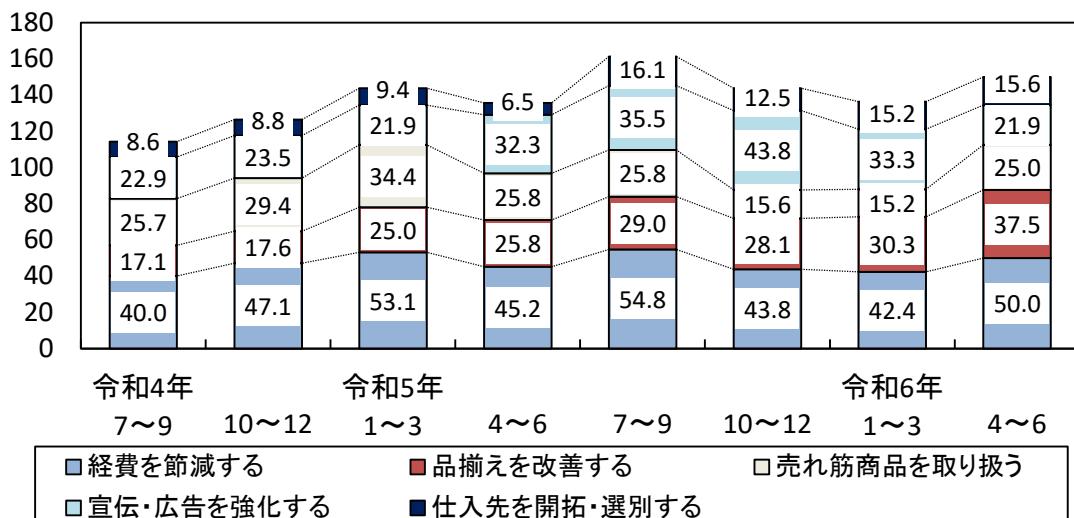


## 小売業 経営上の問題点（%）



	令和5年7月～9月期	令和5年10月～12月期	令和6年1月～3月期	令和6年4月～6月期
第1位	仕入先からの値上げ要請 35.5 %	売上の停滞・減少 34.4 %	仕入先からの値上げ要請 30.3 %	同業者間の競争の激化 37.5 %
第2位	売上の停滞・減少 29.0 %	仕入先からの値上げ要請 25.0 %	売上の停滞・減少 24.2 %	売上の停滞・減少 31.3 %
第3位	利幅の縮小 22.6 %	利幅の縮小 21.9 %	利幅の縮小 21.2 %	仕入先からの値上げ要請 28.1 %
	大型店との競争の激化 22.6 %		同業者間の競争の激化 21.2 %	
第4位	商店街の集客力の低下 16.1 %	大型店との競争の激化 15.6 %	大型店との競争の激化 18.2 %	利幅の縮小 21.9 %
	同業者間の競争の激化 16.1 %			
第5位	商圈人口の減少 9.7 %	商店街の集客力の低下 12.5 %	人件費の増加 9.1 %	大型店との競争の激化 15.6 %
	店舗の狭小・老朽化 9.7 %		商店街の集客力の低下 9.1 %	

### 小売業 重点経営施策(%)



	令和5年7月～9月期	令和5年10月～12月期	令和6年1月～3月期	令和6年4月～6月期
第1位	経費を節減する 54.8 %	宣伝・広告を強化する 43.8 %	経費を節減する 42.4 %	経費を節減する 50.0 %
	経費を節減する 43.8 %			
第2位	宣伝・広告を強化する 35.5 %	品揃えを改善する 28.1 %	宣伝・広告を強化する 33.3 %	品揃えを改善する 37.5 %
第3位	品揃えを改善する 29.0 %	売れ筋商品を取り扱う 15.6 %	品揃えを改善する 30.3 %	売れ筋商品を取り扱う 25.0 %
第4位	売れ筋商品を取り扱う 25.8 %	商店街事業を活性化させる 12.5 %	売れ筋商品を取り扱う 15.2 %	宣伝・広告を強化する 21.9 %
		仕入先を開拓・選別する 12.5 %	仕入先を開拓・選別する 15.2 %	
第5位	商店街事業を活性化させる 19.4 %	店舗・設備を改裝する 6.3 %	新しい事業を始める 9.1 %	仕入先を開拓・選別する 15.6 %
		機械化を推進する 6.3 %	機械化を推進する 9.1 %	
		人材を確保する 6.3 %		

## サービス業

### 業況・売上額・収益

サービス業の主要指標をみると、業況は 6.8 で前期比 20.3 ポイント増と好転した。売上額は 12.0 で 10.4 ポイント増と大きく増加幅が拡大し、収益は 0.7 で 6.2 ポイント増と増加に転じた。来期の見通しについては、業況は好調感が大幅に後退し、売上額は増加幅がわずかに縮小し、収益は増加傾向が多少強まる見込み。

### 価格・在庫動向

価格動向については、料金価格は 22.5 で 0.7 ポイント増と前期並の上昇が続き、材料価格は 47.8 で 8.0 ポイント増とかなり上昇傾向が強まった。来期の見通しについては、料金価格は今期並の上昇が続き、材料価格は上昇傾向が大きく弱まる見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

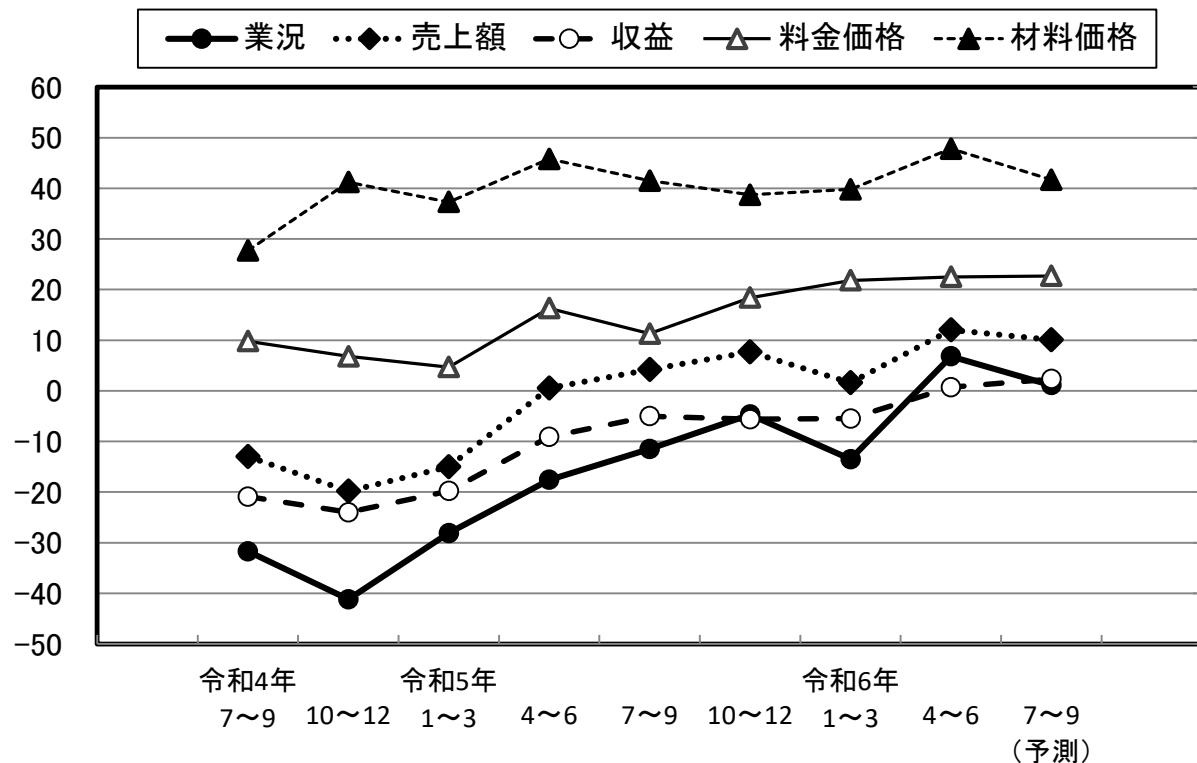
資金繰りは 3.1 で 10.5 ポイント増と容易となり、借入難易度は△8.3 で 0.9 ポイント減と前期並の苦しさが続いた。借入をした企業は 2.5% で 10.0 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 17.9% で 7.9 ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは容易さが幾分縮小し、借入をする企業は若干増加し、設備投資を実施する企業はやや減少する見込み。

### 経営上の問題点・重点経営施策

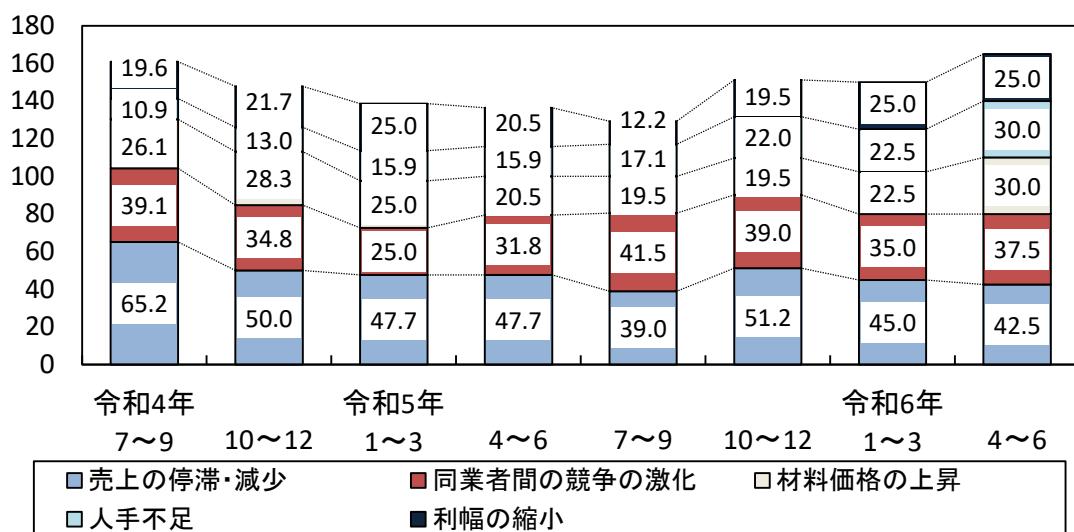
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」で 42.5% となった。次いで 2 位は「同業者間の競争の激化」で 37.5%、3 位は「材料価格の上昇」「人手不足」でともに 30.0% となった。以下、4 位は「利幅の縮小」で 25.0%、5 位は「人件費の増加」で 15.0% となった。

重点経営施策では、1 位は「経費を節減する」で 50.0% となった。次いで 2 位は「販路を広げる」で 40.0%、3 位は「人材を確保する」で 22.5% となった。以下、4 位は「技術力を強化する」「店舗・設備を改装する」でともに 15.0%、5 位は「宣伝・広告を強化する」で 12.5% となった。

## 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

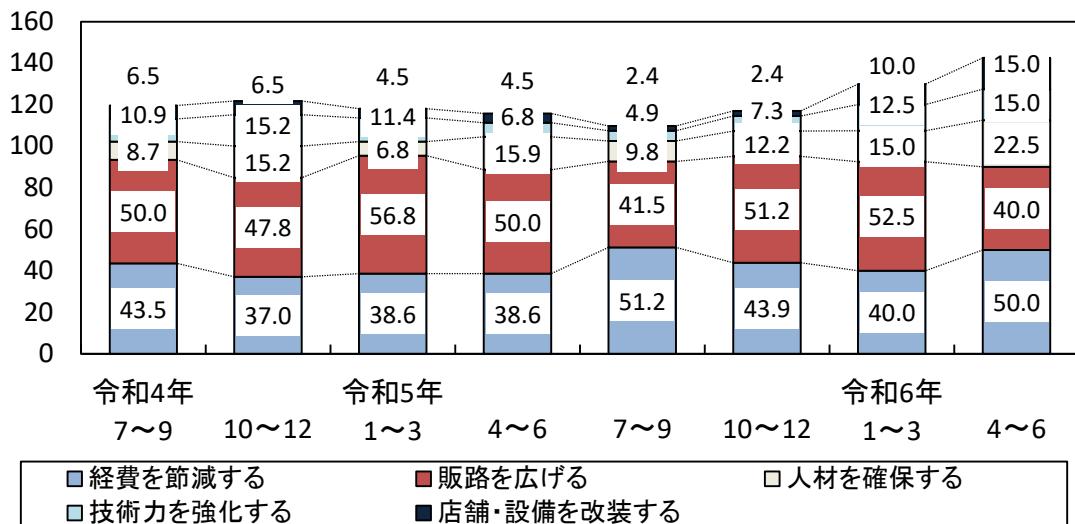


## サービス業 経営上の問題点（%）



	令和5年7月～9月期	令和5年10月～12月期	令和6年1月～3月期	令和6年4月～6月期
第1位	同業者間の競争の激化 41.5 %	売上の停滞・減少 51.2 %	売上の停滞・減少 45.0 %	売上の停滞・減少 42.5 %
第2位	売上の停滞・減少 39.0 %	同業者間の競争の激化 39.0 %	同業者間の競争の激化 35.0 %	同業者間の競争の激化 37.5 %
第3位	材料価格の上昇 19.5 %	人手不足 22.0 %	利幅の縮小 25.0 %	材料価格の上昇 30.0 %
第4位	人手不足 17.1 %	材料価格の上昇 19.5 %	材料価格の上昇 22.5 %	利幅の縮小 25.0 %
第5位	利幅の縮小 12.2 %	人件費の増加 9.8 %	取引先の減少 10.0 %	人件費の増加 15.0 %
		取引先の減少 9.8 %		

## サービス業 重点経営施策(%)



	令和5年7月～9月期	令和5年10月～12月期	令和6年1月～3月期	令和6年4月～6月期
第1位	経費を節減する 51.2 %	販路を広げる 51.2 %	販路を広げる 52.5 %	経費を節減する 50.0 %
第2位	販路を広げる 41.5 %	経費を節減する 43.9 %	経費を節減する 40.0 %	販路を広げる 40.0 %
第3位	提携先を見つける 14.6 % 宣伝・広告を強化する 14.6 %	宣伝・広告を強化する 22.0 %	人材を確保する 15.0 % 新しい事業を始める 15.0 %	人材を確保する 22.5 %
第4位	人材を確保する 9.8 %	人材を確保する 12.2 %	技術力を強化する 12.5 %	技術力を強化する 15.0 % 店舗・設備を改裝する 15.0 %
第5位	教育訓練を強化する 7.3 % 労働条件を改善する 7.3 %	労働条件を改善する 9.8 % 提携先を見つける 9.8 %	宣伝・広告を強化する 10.0 % 店舗・設備を改裝する 10.0 %	宣伝・広告を強化する 12.5 % 教育訓練を強化する 10.0 %

## 建設業

### ／業況・売上額・収益・受注残・施工高

建設業の主要指標をみると、業況は3.1で前期比9.4ポイント減とかなり好調感が後退した。売上額は9.2で5.9ポイント増と大きく増加幅が拡大し、受注残は11.1で2.0ポイント増とわずかに好調さを強め、施工高は10.0で6.6ポイント減と大幅に後退し、収益は△8.0で4.7ポイント減とやや低迷した。来期の見通しについて、業況は好調感が大幅に強まる見込み。施工高は多少後退し、受注残は増加幅がかなり縮小し、売上額は増加から減少に転じ、収益は大きく低迷する見通し。

### ／価格・在庫動向

価格動向については、請負価格は38.3で8.2ポイント増と大幅に上昇傾向が強まり、材料価格は75.6で21.9ポイント増と極端に上昇幅が拡大した。在庫は6.3で7.2ポイント増と適正水準から過剰となつた。来期の見通しについては、請負価格は上昇傾向が幾分弱まり、材料価格はかなり上昇幅が縮小し、在庫は過剰から適正水準となる見込み。

### ／資金繰り・借入金・設備投資動向

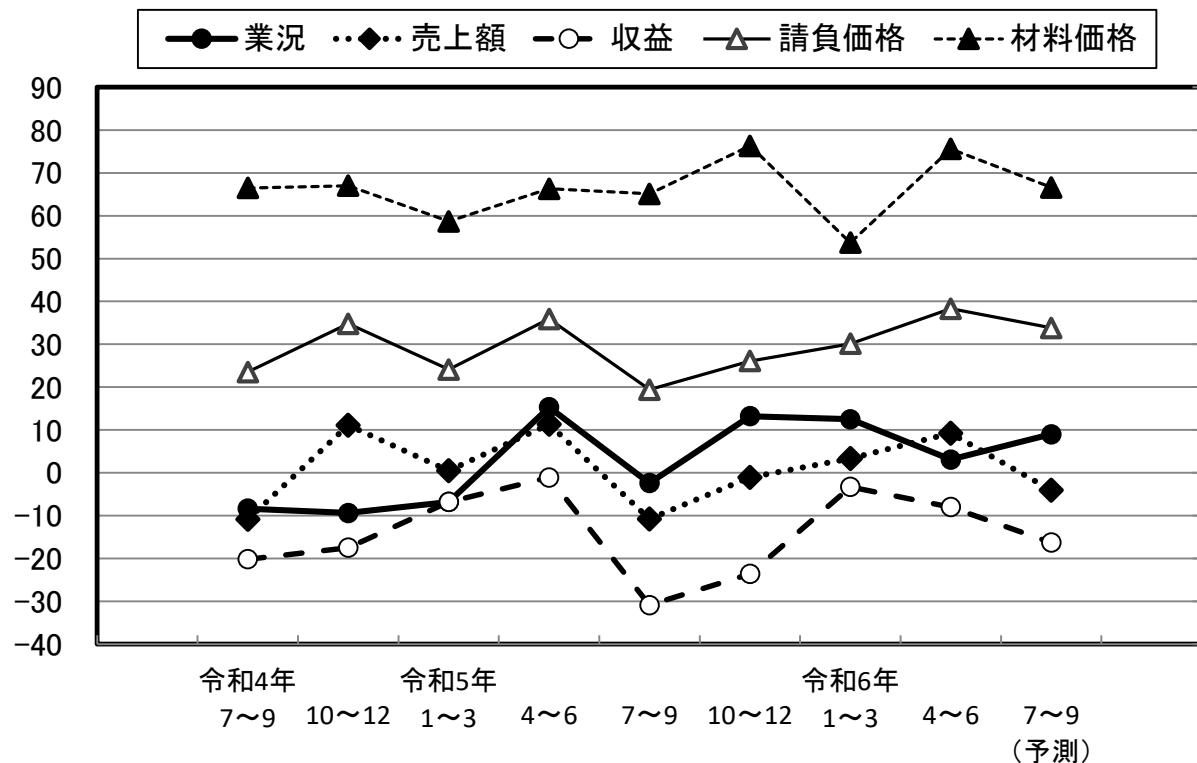
資金繰りは3.1で5.3ポイント減と多少容易さが縮小し、借入難易度は4.6で0.1ポイント減と前期並の容易な状況となった。借入をした企業は13.3%で9.6ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は16.7%で6.0ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは厳しい状況に転じ、借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業は若干減少する見込み。

### ／経営上の問題点・重点経営施策

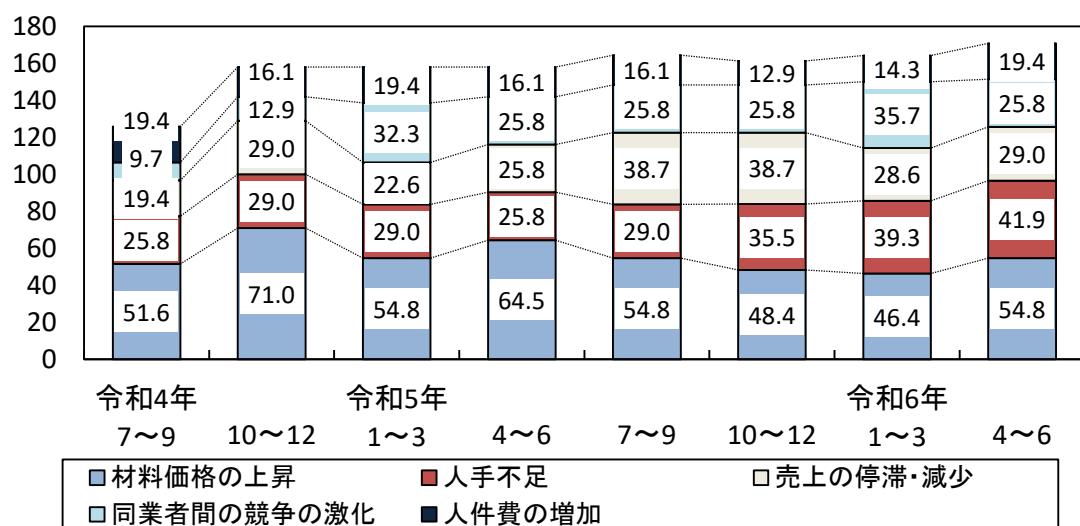
経営上の問題点は、1位は「材料価格の上昇」で54.8%となった。次いで2位は「人手不足」で41.9%、3位は「売上の停滞・減少」で29.0%となった。以下、4位は「同業者間の競争の激化」で25.8%、5位は「人件費の増加」で19.4%となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」で48.4%となった。次いで2位は「人材を確保する」「経費を節減する」でともに41.9%、3位は「技術力を高める」で19.4%となった。以下、4位は「労働条件を改善する」「情報力を強化する」でともに9.7%、5位は「教育訓練を強化する」「不動産の有効活用を図る」でともに6.5%となった。

## 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

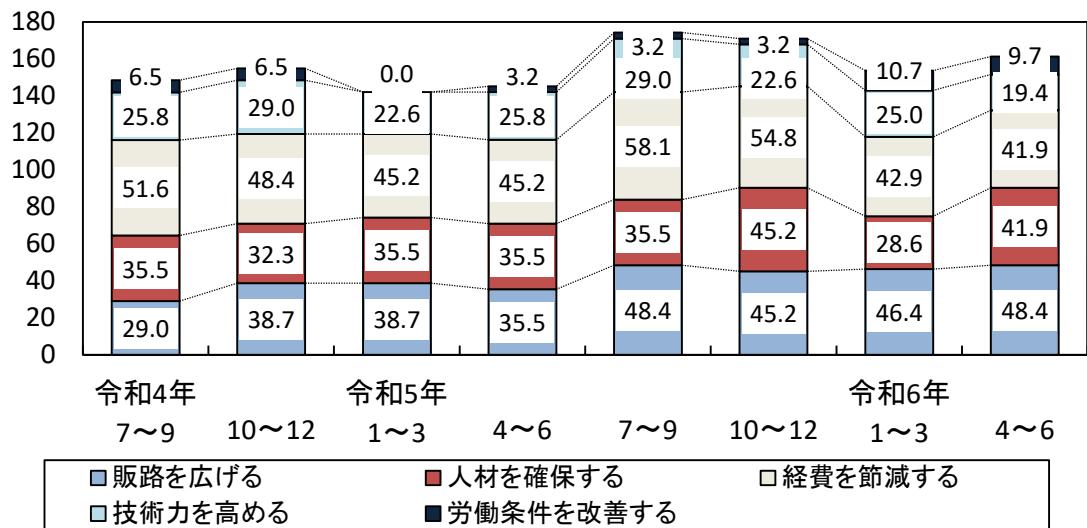


## 建設業 経営上の問題点（%）



	令和5年7月～9月期	令和5年10月～12月期	令和6年1月～3月期	令和6年4月～6月期
第1位	材料価格の上昇 54.8 %	材料価格の上昇 48.4 %	材料価格の上昇 46.4 %	材料価格の上昇 54.8 %
第2位	売上の停滞・減少 38.7 %	売上の停滞・減少 38.7 %	人手不足 39.3 %	人手不足 41.9 %
第3位	人手不足 29.0 %	人手不足 35.5 %	同業者間の競争の激化 35.7 %	売上の停滞・減少 29.0 %
第4位	同業者間の競争の激化 25.8 %	同業者間の競争の激化 25.8 %	売上の停滞・減少 28.6 %	同業者間の競争の激化 25.8 %
第5位	利幅の縮小 19.4 %	下請の確保難 16.1 %	人件費の増加 14.3 %	人件費の増加 19.4 %
			利幅の縮小 14.3 %	

## 建設業 重点経営施策 ( % )



	令和5年7月～9月期	令和5年10月～12月期	令和6年1月～3月期	令和6年4月～6月期
第1位	経費を節減する 58.1 %	経費を節減する 54.8 %	販路を広げる 46.4 %	販路を広げる 48.4 %
第2位	販路を広げる 48.4 %	人材を確保する 45.2 %	経費を節減する 42.9 %	人材を確保する 41.9 %
		販路を広げる 45.2 %		経費を節減する 41.9 %
第3位	人材を確保する 35.5 %	技術力を高める 22.6 %	人材を確保する 28.6 %	技術力を高める 19.4 %
第4位	技術力を高める 29.0 %	情報力を強化する 12.9 %	技術力を高める 25.0 %	労働条件を改善する 9.7 %
				情報力を強化する 9.7 %
第5位	教育訓練を強化する 6.5 %	教育訓練を強化する 6.5 %	労働条件を改善する 10.7 %	教育訓練を強化する 6.5 %
	情報力を強化する 6.5 %		情報力を強化する 10.7 %	不動産の有効活用を図る 6.5 %